

## 17. 種子が少なく果皮が薄いレモン「イエローベル」を品種登録申請

### 1. 背景とねらい

本県のレモン産地では、農家の所得向上・経営安定を実現するため、収益性の高いレモンの生産拡大を行っており、今後の安定的な販売のため、業務用等への需要拡大、新商品の開発等を目指している。

そこで、あらたな需要開拓に結びつく種無し等の有用な形質を持つレモン新品種を育成する。

### 2. 成果の内容

- 1) 「イエローベル」は2000年に道谷系「ピラフランカ」の自然交雑実生の小粒種子から三倍体を選抜して育成した品種である(図1, 2)。
- 2) 樹姿は直立と開張の間であり、枝梢は密に発生し、枝梢の長さは中である。枝梢のトゲの発生は、道谷系「ピラフランカ」および石田系「リスボン」より多い(表1)。
- 3) 葉身は大で、葉形指数は小である。花は総状で花粉量は中である(表1)。
- 4) 育成地(三原市木原町)における満開期は5月第2半旬で、着色は10月下旬から始まり12月中旬に完全着色となる(図1)。成熟期は果汁割合が高くなる12月中旬である。
- 5) 果実は球～長形であり、果皮はやや滑らかである(表2)。
- 6) 果実重は約210gで、道谷系「ピラフランカ」および石田系「リスボン」より大きい(表2)。
- 7) 果皮は5.1mmで薄くやわらかいので果汁を搾り易い。香気は中であり、食味はレモンに類似しており、酸度はやや低くまろやかな味である(表2)。
- 8) 種子は道谷系「ピラフランカ」および石田系「リスボン」より少ない(表2)。

### 3. 利用上の留意点

- 1) 無核で結実するが、周辺に花粉が多い品種がある等の栽培条件によっては、少数の種子が入る。また、着花数は多いが、結実率が低い年がある。
- 2) かいよう病等の病虫害防除は、レモン既存品種に準じて実施する。
- 3) 2010年3月4日に品種登録出願を行い公表中である(出願番号大24651号)。

(果樹研究部, 栽培技術研究部)

4. 具体的データ



図1 「イエローベル」の結実状況



図2 「イエローベル」の果実

表1 「イエローベル」の樹および花の特性<sup>z</sup>

品種・系統名	樹姿	樹勢	枝梢の密度	枝梢の太さ (mm)	枝梢の長さ (cm)	とげ発生割合 (%) <sup>y</sup>	葉身の大きさ (cm <sup>2</sup> )	葉形指数 <sup>x</sup>	花序の形成	花粉の多少
イエローベル	中間	強	密	太(3.9)	中(12.8)	65.8	大(37.7)	小(1.9)	総状	中
道谷系ピラフランカ	直立	強	粗	太(4.4)	長(22.0)	31.8	大(36.9)	中(2.1)	総状	多
石田系リスボン	直立	強	中	太(4.4)	長(21.8)	45.0	極大(43.6)	大(2.3)	総状	多

<sup>z</sup>特性値は種苗特性分類調査報告書(1994)による。  
<sup>y</sup>調査した枝梢のとげ数÷調査した枝梢の全着葉節数  
<sup>x</sup>葉身長÷葉幅長

表2 「イエローベル」の果実特性<sup>z</sup>

品種・系統名	果実の形	果面の粗滑	果実重 (g)	横径 (mm)	果径指数 <sup>y</sup>	果皮厚 (mm)	果皮歩合 (%)	香気の多少	種子数		Brix値 (°Brix)	酸度 (wt,%)
									完全	不完全 (8mm以上)		
イエローベル	長球	やや滑	214	73.6	94.8	5.1	29.1	中	2.9	3.8	8.9	5.27
道谷系ピラフランカ	紡錘	中	142	61.1	72.9	6.1	48.0	多	15.6	2.1	9.0	6.66
石田系リスボン	紡錘	中	139	61.7	74.3	5.9	41.8	多	22.5	2.0	9.2	6.47

<sup>z</sup>特性値は種苗特性分類調査報告書(1994)による。3品種は2009年12月10日収穫、2009年12月10日調査。  
<sup>y</sup>横径÷縦径×100